

問題例

立正大学地球環境科学部地理学科

総合型選抜入試

総合選抜入学試験(前期) レポート方式 基礎学力テスト

〔I〕 さまざまな地図とその利用に関する問1と問2に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入すること。

問1 次の文章の空欄〔1〕～〔10〕に入るもっとも適切な語句を、下の語句群①～⑱からそれぞれ一つ選択し、文章を完成させよ。

地球を球体のままで縮小した〔1〕は、距離や方位・角度などの関係をほぼ正確にあらわしており、地球上の位置を表現し、理解しやすい。例えば、〔1〕の上の任意の地点Aからの方位を知るためには、2本の紙テープを直角に交わるように貼り合わせ、交わった点を任意の地点Aの上に置き、1本のテープを〔2〕と〔3〕を通るようにする。また、地球上の任意の地点の正反対（地球の反対側）の位置にあたる場所は、〔4〕と呼ばれる。

しかし、〔1〕は、かさばって持ち運びにくいいため、地球全体を表現したり、理解しようとしたりする場合、現在では平面の〔5〕が使われることも多い。平面に描かれた〔5〕は、〔1〕のように角度・方位・距離・面積などのすべてを同時に正しく表現することはできないため、利用する時には、図法（投影法）の特徴をよく理解しておく必要がある。

例えば、地図上で面積が正しくあらわされている図法は、正積図法と呼ばれ、この図法には〔6〕図法や〔7〕図法などがある。地球上の角度の関係を地図上で正しく表現した図法は、正角図法と呼ばれる。正角図法には、〔8〕図法が含まれ、この図法では〔9〕ほど、経緯線の長さが拡大されている。地球上の距離の関係が地図上で正しく描かれている図法は、正距図法と呼ばれ、図の中心からの距離と方位が正しくあらわされる正距方位図法などが当てはまる。正距方位図法による地図では、図の中心からの最短距離は直線で表すことができ、この直線は〔10〕と呼ばれる。

【語句群】

- | | |
|-----------------------|--------|
| ① 地球儀 | ⑩メルカトル |
| ② TO マップ | ⑪モルワイデ |
| ③ 都市計画図 | ⑫低緯度 |
| ④ 世界地図 | ⑬中緯度 |
| ⑤ グリニッジ天文台 | ⑭高緯度 |
| ⑥ 対蹠点 ^{たいせき} | ⑮赤道 |
| ⑦ 北極 | ⑯大圏航路 |
| ⑧ 南極 | ⑰太平洋航路 |
| ⑨ サンソン | ⑱等角航路 |

問 2 次の文章の空欄〔11〕～〔20〕に入るもっとも適切な語句を、下の語句群①～②6からそれぞれ一つ選択し、文章を完成させよ。

日本において地形や土地利用などの特徴を調べようとする場合、国土地理院が発行する2万5千分の1〔11〕や電子〔11〕25000を活用することができる。2万5千分の1〔11〕は、空中写真や現地測量をもとにした〔12〕である。〔11〕では、土地利用や建物、道路などを示すために地図記号が用いられる。地図記号は時代の変化に合わせて改定されており、例えば、平成14(2012)年図式でつくられた記号は〔13〕を表しており、記号は〔14〕を表している。

また、〔11〕から、地形の特徴を読み取ることができる。2万5千分の1〔11〕には、測量の基準となる〔15〕や三角点が描かれており、その地点の標高が数値で記載されている。2万5千分の1〔11〕では、同じ標高の場所を結んだ〔16〕線も引かれており、主曲線が〔17〕m間隔で、計曲線が〔18〕m間隔でそれぞれ引かれている。〔16〕線が密な(間隔が狭い)ところは、まばらな(間隔が広い)ところよりも地面の傾きが急である。

さらに、〔11〕から、実際の地表面上の距離や面積を知ることができる。2万5千分の1〔11〕上での1cmは、実際の距離では〔19〕mである。なお、〔11〕上の方位は、図に向かって(図幅の)上が〔20〕となっている。

【語句群】

- | | |
|------------|-------|
| ① 分布図 | ⑭ 区分 |
| ② 地形図 | ⑮ 10 |
| ③ 編集図 | ⑯ 20 |
| ④ 実測図 | ⑰ 30 |
| ⑤ 官公署 | ⑱ 40 |
| ⑥ 工場 | ⑲ 50 |
| ⑦ 博物館・美術館 | ⑳ 250 |
| ⑧ 老人ホーム | ㉑ 500 |
| ⑨ グリニッジ標準時 | ㉒ 750 |
| ⑩ 人口分布 | ㉓ 東 |
| ⑪ 水準点 | ㉔ 西 |
| ⑫ 等高 | ㉕ 南 |
| ⑬ 境界 | ㉖ 北 |

〔Ⅱ〕 オーストラリアに関する問1と問2に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入すること。

問1 オーストラリアの概略図を描き、以下の①と②を図中に示しなさい。

- ① 主要な都市名、自然地形名
- ② 主要な鉄鉱石産地、石炭産地、その他の地下資源産地

問2 オーストラリアの鉱産・エネルギー資源について50字以上80字以下の文章で説明しなさい。

以 上